

令和4年度
鳥取県埋蔵文化財センター
古代山陰道特別講演会

参加費
無料

オンライン視聴にかかる
通信料は自己負担

古代の道と 祭祀

申込期間
11月1日 ▶ 12月6日
8:30 17:00

※ただし、定員に
なりしだい
募集終了

定員

会場参加
90名

※いずれも要申し込み、先着順

オンライン参加
50名

令和4年
12月10日(土)
13:30-15:50

鳥取市総合福祉センター
さざんか会館

〒680-0845 鳥取市富安2丁目104-2
※会場参加に加え、オンライン同時配信を実施。

対象

一般

- 会場参加の方で体調に不調が生じた場合は参加をお控えください。
- 大声での会話は御遠慮ください。
- 検温、マスクの着用、手指消毒の御協力をお願いします。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては会場参加を中止し、オンライン配信のみ実施する場合があります。



主催／鳥取県埋蔵文化財センター TEL 0857-27-6711 共催／鳥取市教育委員会
FAX 0857-27-6712 MAIL maibuncenter@pref.tottori.lg.jp 協力／鳥取市青谷町総合支所

これまで人類は幾度となく疫病との闘いを余儀なくされてきました。目に見えない疫病に対する恐怖は相当のものだつたと考えられます。古代には疫病などの災いは道を通つてやつてくると考えられていました。今回の特別講演会では、疫病と道路との関わりについて、古代交通や祭祀から考えてていきます。

講師

じんの
神野 恵 氏
めぐみ

独立行政法人国立文化財機構

奈良文化財研究所都城発掘調査部考古第二研究室長



歴史考古学、東アジア考古学、窯業史が専門。因幡国古代山陰道発掘調査委員会委員、奈良女子大学客員教授。平城宮や寺院、官衙、古代官道の調査研究に取り組み、平城京から出土する土器・土製品を通じて、奈良時代の疫病対策や、塩の流通、灯明皿の普及など、古代の人々の暮らしについて研究を進めている。

○主な著書

「平城京の発掘調査からみた天平7~9年の天然痘禍」『歴史学研究』No.1010 (2021年)

「平城京近郊の須恵器生産」『奈文研論叢』第2号 (2021年)

「疫病と考古学」『考古学研究』第69巻第2号(通巻274号) (2022年)

次第

13:00 開場

13:30~13:40 開会

13:40~14:10 事例報告「古代交通と祭祀—青谷町域を中心に—」
講師▶下江 健太 (青谷かみじち史跡公園準備室係長)

14:10~14:20 休憩

14:20~15:50 特別講演「古代の道と祭祀—疫病は道を通つてやってくる?—」
講師▶神野 恵

15:50 閉会 ※質疑応答は行わず、後日、センターHP等で回答

会場
案内図



さざんか会館の
駐車場利用

駐車場はさざんか会館敷地内の駐車場をご利用ください。

※さざんか会館受付口にて駐車券の無料処理が必要となります。

※さざんか会館駐車場が満車の場合は鳥取市駅南庁舎駐車場をご利用ください(受付で無料処理が必要となります)。

※その他の有料駐車場に停められた場合は有料となりますのでご了承ください。

※できるだけ公共交通機関をご利用ください。

申し込み方法

とっとり電子申請サービスから予約申し込み

※とっとり電子申請サービスが利用できない方は電話で申し込み



会場参加者

オンライン参加者